

2024年 保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日： 2024年12月26日

事業所名：児童発達支援 運動遊びと療育支援 こどもプラス柏の葉教室

対象人数（保護者）23人 回答者数 17人 回収 73.9%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	教室からのコメント	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17					設備基準である利用者様1人あたり2.47㎡以上の活動スペースを確保しています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16			1		職員の配置は規定を遵守し、専門性を高めるための研修を行っております。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15				2	子どもたちが過ごしやすいよう環境設定をさせて頂いております。お気づきの点がありましたらお伝え頂ければ幸いです。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1				活動終了後、清掃・消毒を徹底して活動させて頂いております。	
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1		1	・集団の中でどのようにこどもの特性に応じて下さっているのかはわからない。	利用日の子供たちの特性に合わせ、注意して行うところなど支援内容など職員間で共有し、より質の高い支援ができるよう心掛けております。	
	6 事業所がホームページで公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17					支援プログラムに沿って支援を提供するように心がけております。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17				・初めてでしたが、とてもよく話を聞いてくれ、理解してくださったように思います。	保護者様にモニタリングの機会を頂き、アセスメントシートにて聞き取りを行っております。アセスメントシートを基に職員と情報共有をし、計画書を作成しております。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16				1		ガイドラインに沿って支援内容を作成させて頂いております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16				1		支援計画書に沿って支援するよう努めております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2			1		その日の担当職員が、お子様が楽しめるようなプログラムを作成し、活動させていただいております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	1		5		地域交流など出来ていない為、地域交流の機会も設けることができるようにしていきたいと思っております。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17					契約時にお伝えさせて頂いております。質問等ありましたらお気軽にお問い合わせください。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16				1		保護者様が分かりやすいようお伝えするように心掛けております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	2		7		今年度より保護者様参加型のイベントも実施させて頂いておりますが、参加出来ない方にも情報提供やお話をさせて頂ける場を設けていけるよう努めてまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	16	1					お子様の送迎時にお伝えさせて頂いておりますが、時間が限られてしまっている為お時間を頂きお話し出来る場を設けてさせて頂きたいと考えております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15				2		モニタリングの際にもご相談をお伺いさせて頂いております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17						保護者様とこどもたちの出来事や様子を共感できるよう心掛けております。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	1	4		7		今後も親子イベントは定期的に開催させて頂きます。兄弟も参加できるようなイベントも考えて参りたいと思っております。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14				3		職員間での共有の徹底をさせて頂き、漏れないよう、速やかに対応させて頂きます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17						こどもたちや保護者様が職員にお話ししやすいよう心掛けてまいります。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17						ホームページを毎日活動の様子を掲載させて頂いております。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15				2		書類等に記載があるような個人の情報の持ち出しを制限し、保管方法も徹底しております。	
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1			7		マニュアルにつきましてはお手紙でもお渡しさせて頂いております。避難経路図に関しましては教室にも掲示させて頂いております。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1	1		8		年2回、消防署計画に基づき防災訓練を行っております。運動療育中にも、地震、火災、水害等における基本的な知識を取り入れた運動を行う事もあります。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15				2		教室の安全を確保した上で支援させて頂いております。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12				5	・まだそのような事が起こっていないのだと思います	お伝え漏れないよう、且つ速やかにお伝えできるよう心掛けてまいります。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	16	1					今後も安心し気持ちよく通っていただけるよう努めてまいります。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	1			・苦手な先生もいるようですが楽しく通ってます。 ・毎週楽しみにしています。	今後もお友達が楽しくかよって頂けるよう努めてまいります。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	17						今後も皆様に満足していただける支援を提供できるよう努めてまいります。

事業所名 運動遊びと療育支援 こどもプラス柏の葉教室

公表日 2024年12月26日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員10名に対し、指導訓練室が40㎡以上確保できているか	6		40㎡以上確保できている。また、マットの色で座る場所や運動場所などを分け、わかりやすく有効にスペースを活用している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	人員配置基準は満たしているが、配慮が必要な利用者も増え人員が足りていないときがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	空間が広い為、目線近くで説明したり、コンパクトな使い方をしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		活動後の掃除・消毒は必ず行っている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	相談室を一時避難やクールダウンで使用するときもあるが、面談等でも使用するため毎回は難しい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		療育後にフィードバックを行っていたり、業務を分散させたりと常に改善を進めている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員会議の時間を設け話合う機会を作っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		療育後に話し合い、意見交換をする機会を作っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修にも参加できるようにしている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		毎日ブログを更新している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		6か月に1回アセスメントをとりその時のニーズによって見直しも行っている。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		モニタリングが近くなった利用者の聞き取りを必ず行っている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画書作成後は職員全体で確認をする。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		支援内容は設定されているが、移行支援で担任の先生との共有がうまく出来ないことも多い。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		目標をすり合わせている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		アレンジや他職員の運動を参考にするなど、飽きのこないよう運動を提供している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	2	専門支援を行っているが、必要な利用者が全員が個別を利用できているわけではない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	5	行えていない日がある為、徹底していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	送迎後に話し合いの時間を作っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		活動の記録も徹底し、改善点などは話し合いをしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6か月に1回行っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3	保育所訪問にも取り組んでいるが、実際に園との連携・相互理解の難しさを感じている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	5	学校の職員と移行の話し合いができていない。進学後に学校に訪問を行かせて頂いている利用者様もいる。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	3	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	手広く活動を進められていない現状はある。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時やお迎えに来ていただいたときやモニタリングの際にお伝えし共通理解できるようにしている。
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	家族支援プログラムを行えていない現状がある。	
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時にお伝えしている。
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		モニタリングの際に確認している。
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		モニタリングやハグで確認をして頂いている。

保護者への説明等	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		モニタリングや電話などでも相談を受けている。
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	保護者参加のイベントを設けている。イベントによって兄弟の参加も可能。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		役割分担をしながら対応させて頂いている。
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		ハグやホームページなどで情報を発信してる。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報になるものは表に出ないように徹底している。
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		こどもには視覚的なてがかりなども意思疎通につなげている。
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	地域交流を来年度より検討している。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	3	マニュアルは周知し、訓練等も行うようにしている
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に確認をしている
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	アレルギーが含まれた物は提供していない。指示書はいただいている。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		職員間で共有し、対策を検討している。
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止委員会の研修に参加し、全職員へ共有している。
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			